

令和5年度「山形学」第4回講座 実施報告書

- ◆日時：9月30日（土）9：00～16：30
- ◆見学先：米沢市上杉博物館（米沢市）
高島町郷土資料館（高島町）
- ◆テーマ：大テーマ「山形の歴史的成り立ち」
第4回テーマ「置賜の歴史的成り立ち」
- ◆内容：講師：角屋由美子氏（米沢市上杉博物館 上杉文化研究室長・上杉神社稽照殿学芸課長）
原 淳一郎氏（山形県立米沢女子短期大学教授）
コーディネーター：本田香奈子氏（「山形学」企画委員）
中川 恵氏（「山形学」企画委員）
- ◆プログラム
 - 9：00 受付開始（遊学館西口）
 - 9：25 バス遊学館出発
 - 10：32 伝国の杜 到着
 - 10：35 原淳一郎氏より講話
 - 11：20 角屋由美子氏より講話
 - 12：20 講話終了・昼食
 - 12：20 食後、上杉博物館内の企画展、常設展を自由見学
 - 13：37 バス伝国の杜出発
 - 14：15 高島町郷土資料館到着 資料館と安久津八幡神社を2班に分かれて見学
 - 15：15 見学終了
 - 15：20 バス高島町郷土資料館出発
 - 16：35 遊学館到着・解散

◆第4回参加者：46名

◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会

◆当日の様子

○講演

第4回講座は置賜の歴史と文化にフォーカスしました。置賜は上杉米沢藩のイメージが強いですが、米沢藩の支配にとどまらない高島の農民たちの対立姿勢にも注目し、置賜の複雑でデリケートな歴史を新たな視点で学びました。米沢市の伝国の杜では、講師に原淳一郎氏と角屋由美子氏を迎え、お二人から置賜の歴史と文化を学びました、

原氏は、置賜の中世～近世の歴史を概括的に話してくれました。写真や絵を盛り込んだカラフルで詳細な資料は大変わかりやすく、置賜の支配者が、大江氏（長井市）→伊達氏→蒲生氏→直江氏→上杉氏と変遷し、中でも屋代郷は上杉氏→幕府直轄地→織田氏→幕府領→上杉氏という変遷を辿った、非常に複雑な歴史をよく理解することができました。また、会津120万石から30万石へ減移封された上杉氏は、家臣団約5000人を一人もリストラしなかったために藩の財政が苦しかったこと、3代藩主が後継者を決めないまま急死したため改易の危機に陥り、さらに15万石に半減されたこと。それにより藩財政はますますひっ迫し、しわ寄せは更なる年貢の厳しい取り立てとなり、農民の困窮を招き幕府へ直訴する事態となったこと、この米沢藩と高島町の農民との関係性が現代にまで影響を及ぼしているとの説明に皆一様に驚いていました。その他、文化の面では、置賜の伝統工芸や信仰習俗、食文化、風景、自然との関わり方まで話していただきました。

角屋氏からは、ご自身が米沢藩の武士の子孫とのことで、近世の上杉米沢藩についてこれまであまり知られてこなかったお話をお聞きました。江戸時代初期の米沢市のキリシタン殉教者は長崎に次ぐ53名と多かったこと。また、4代藩主は忠臣蔵で有名な吉良上野介の実子であり、上杉家と吉良家は親密な関係であったため、米沢では忠臣蔵、義士とは言わないこと、日本全国で忠臣蔵を上映しないのは、米沢市と吉良家の領地があった愛知県の西尾市のみと言われており、米沢市と西尾市は姉妹都市を結んでいることなど、あまり知られていないお話の数々に受講生は興味深々でした。

続いて、高島町郷土資料館では、館長の青木氏から中世からの高島町の歴史の紹介の後、米沢藩の苛烈な取り立てなどの数々を、地元の義民、高梨利右衛門が幕府に直訴したおかげで、屋代郷（高島町）は翌年米沢藩の支配から離れ、幕府直轄地（天領）となったことで、利右衛門は地元の英雄として祀られるようになったという伝説について詳しく解説していただきました。より深く関係性の構図を理解することができました。青木氏からいただいた46枚に渡る高島町の縄文時代から明治までの詳細な資料に、参加者らはこの1冊で高島町の歴史がすべてわかると感激していました。また、資料館と隣接する平安時代に建てられたと伝わる阿久津八幡神社をまほろばの里案内の方々案内していただきました。舞楽殿では、今も延年の舞が奉納され続けており、伝統が今に受け継がれていることを説明していただきました。

参加者からは、「領主と領民の異なる視点からの構成がよかったです」「米沢藩の歴史を深掘りできました」などの声が寄せられ、とても好評でした。置賜の複雑な歴史の成り立ち、そして文化の面からも私たちの暮らしとのつながりを学ぶ、大変有意義な講座となりました。

参加者の声

- ・米沢藩と高島町の関係性と歴史について認識を深めることができました。
- ・置賜についての知識が無かったので、今回の講座はとても面白かったです。室町期・鎌倉期の内容が折り込んであり、これを契機にもっと知りたくなりました。
- ・米沢藩の歴史を深掘りすることができました。興味深いお話ばかりでした。
- ・講師のお話がとてもわかりやすく、素晴らしかったです。また資料が豊富で複雑な置賜の歴史がすんなりと頭に入り、よく理解することができました。
- ・米沢上杉藩の4代藩主が、あの有名な吉良上野介の実子であり、被害を受けたこと、また、吉良家の領地である愛知県西尾市と姉妹都市を結んでいることも知りませんでした。吉良家との関係をもっと知りたくなりました。
- ・高梨利右衛門の話は今回はじめて聞きました。興味深いお話でした。

○当日の様子



中川コーディネーター



講師：原淳一郎氏



講師：角屋由美子氏



講師：原氏、角屋氏



講話会場：伝国の杜 2階大会議室



上杉博物館 常設展 自由見学



本田コーディネーター



高畠町郷土資料館 館長青木様より解説



安久津八幡神社の見学



まほろばの里案内人の方々より解説